

宇宙航空研究開発機構（JAXA）の国産ロケットに使用されている高性能の断熱塗料を、民生分野に転用することに成功しました。現在は主に戸建て住宅やマンション、公共施設の施工業者向けに断熱塗料「GAINA（ガイナ）」として販売しています。

アクリル樹脂を塗料にしたペンキとは違い、断熱性の高い特殊セラミックを塗料化したのが特徴です。屋根や壁に塗ると、夏は屋外の熱を遮断し、冬は室内の熱を逃しにくくする断熱効果が発揮され、対応温度もマイナス150度からプラス150度までと幅広いです。さらに結露防止・防音・消臭機能などの付加価値もあります。

特殊セラミックは太陽光線を受けると、イオン化作用が働き、室内の空気の質も改善できます。東京都内の実験では、標準1000坪の高原リゾート並みの良質なマイナスイオンの発生状態を確認しました。

「JAXAとライセンス契約

日進産業社長

石子達次郎さん

開拓者



を締結したのは平成17年。過去約20年間に独自開発した断熱塗料の技術力と販売実績が認められた。ロケット打ち上げ時に、高温から機体を守るため機体先端部に断熱塗料を使っているJAXAの高度な技術を取り入れ、新製品「ガイナ」を18年3月に市場に投入することができた。ガイナは、従来製品に比べて2割ほど少ない分量でも従来以上の機能が発揮でき、結果的にコストダウンにもなっています。さらに用途や販売の拡大への道を開きました。顧客として想定していなかった焼却炉メーカーや、レーシングカーのマフラ製造会社からも問い合わせがあったことに加え、溶鉱炉のふたや焼却炉の取っ手にまで新規採用されました。JAXAとのライセンス契約

断熱塗料で宇宙目指す

データ  
日進産業 機械工事事業、断熱塗料事業▽昭和52年創業▽資本金1000万円▽本社・東京都板橋区▽従業員27人▽連結売上高7億5000万円▽http://www.nissin-sangyo.jp

後は、一般家屋での受注件数が3割増の約3000件になるなど、JAXAのおかげで信頼獲得の一助となったのは確かです。

球温暖化に影響を及ぼす二酸化炭素の排出を抑えることができるという。業績は右肩上がり順調です。ただ、当社の施工能力の規模からすると、これ以上業績を伸ばすことは、施工品質の低下につながるかと判断し、品質重視のため、積極的な広報活動をしていません。利益追求を二の次にできるのは、上場していない零細企業の強みであると思っています。

いくら高度な技術力があっても、名前を知られていない零細企業にとっては、世間に製品の良さを理解してもらうには時間も労力もかかりますが、それだけに喜びは大きいです。

「18年度板橋区主催の製品技術大賞環境賞や東京商工会議所主催「勇気ある経営大賞」優秀賞を受賞している。特に環境面での評価が高い。冷暖房費を2〜3割削減でき、地

今後は「ガイナ」をさらに進化させ、JAXAに対してロケット技術用としても認可された「ガイナ」を採用したロケットが宇宙に飛び立つのを見るのが夢。そのためにもこれまで以上に勉強を心がけます。

（前田貴大）